

2022 / 2023

# ACTIVITY REPORT

認定NPO法人フードバンク山梨



活動報告書



## CONTENTS

ご挨拶	3
フードバンク活動と食品ロス	4
フードバンクとSDGs	5
子どもの貧困と各種支援	6 - 7
食品ロス削減	8
地域ネットワーク構築と緊急食料支援	9

生きる力を育む取り組み	10
夏休み中の高校生ボランティア	11
利用者の声	12
フードドライブのお願い / 決算報告	13
協賛	14
ご協力のお願い	15

**原動力は子どもたちの笑顔**

15周年を迎えたフードバンク山梨は、一人の小さな思いから始まり、その間個人・企業・団体など、多くの温かい思いに支えられてきました。その温かい思いは、活動の先に見える弱い立場の方々や子どもたちに繋がり、地域に広がっていきました。

長らく無縁社会と言われてきた時代に、フードバンク活動に関わる皆様と共に「血縁・地縁・社縁」ではない「新たな縁」を築いてきました。

そして、子どもたちから届く「宝箱だ～」「クリスマスプレゼントだ～」の声が、私たちの活動を前進させる原動力となっています。

貧困は単なる個人の問題ではなく、社会全体の問題として取り組む必要があります。これからも、その解決のために、皆様と力を合わせて、より多くの方々に「新たな縁」を届けられるよう力を尽くして参りますので、よろしくお願い申し上げます。

理事長  
米山けい子

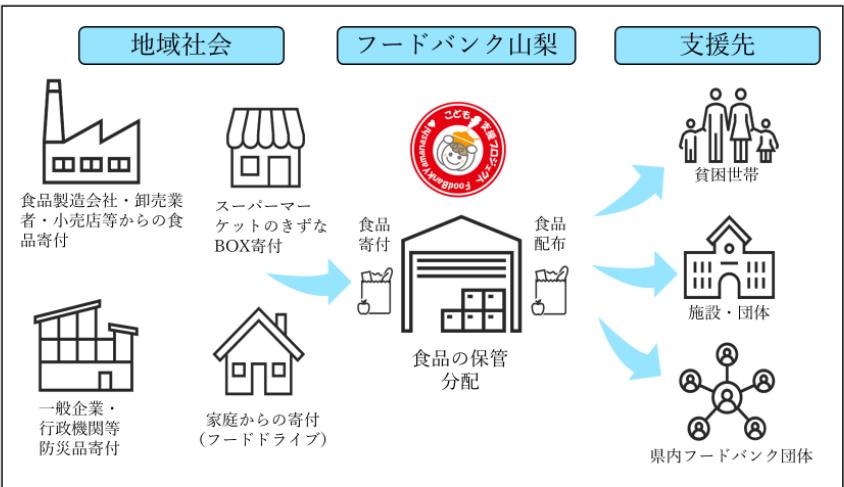
副理事長  
城野 仁志

事務局長  
脇藤 加代子

## フードバンク活動とは

フードバンクとは、安全に食べられるのに企業が販売できない食品や家庭から余剰となった食品の寄贈を受け、必要としている世帯や施設に無償で提供する活動です。

フードバンク山梨では、2022年度に **10,157世帯**を支援しました。



## 食品ロスとは

まだ食べられるのに販売できなかったり、期限が短い等で廃棄される食品のことです。

日本では、**年間約523万トン**の食品ロスが発生しています。

日本人一人当たり毎日お茶碗約1杯分に近い量のご飯を捨てていることと同じです。



## 私たちが目指すもの

フードバンク山梨は、食品ロスが最小限にとどめられ、余剰食品や寄付食品が、必要とするすべての家庭に届く仕組みやネットワークの確立を目指しています。

「食品ロスの削減」と「福祉」を両輪とした、持続可能な地域づくりに向けて、引き続き取り組みます。

私たち、SDGsの実現に向けて活動しています



### 困ったときは、お互いさま



「食品ロス」の削減を推進するために



貧困は他人事ではなく、誰もが陥る可能性があります。だからこそ「困ったときはお互いさま」。声を挙げられる、そして誰もが貧困問題の解決に行動できる社会を地域に築いていきたいと考えています。

### 「食」はいのちと暮らしの基本だから



「今日の食べ物にも困る」生活が苦しい人は、周囲にそれを知られることなく暮らしています。生活基盤の安定のために、行政や社会福祉協議会等地域の相談窓口と連携し、「食のセーフティネット」として食品をお届けしています。

### 欠食・栄養の偏りを改善したい



支援している家庭の多くは、節約のために食事を抜いたり、おかずを食べられないなど厳しい環境で生活しています。私たちからの支援食品を利用し、浮いた分で肉・魚・野菜などを購入することで、食事内容の改善が期待できます。

### 気候変動に大きく影響する「食品ロス」



大量の「食品ロス」を焼却すれば二酸化炭素が、埋め立てるとメタンが発生します。これらは温室効果ガスとして、地球温暖化を加速させます。食品ロスを発生させない仕組みづくりは、気候変動対策にも、重要な役割を担っています。

### 一人ひとりがつながり、協力して社会を変えよう



私たちの活動は、多くの市民・農家・企業・行政とのパートナーシップで成り立っています。一人ひとりが課題を認識し、自分にできることを考え、小さくとも一歩踏み出すごことで、誰もが暮らしやすい社会を実現していきます。



食のセーフティネット事業



フードバンクこども支援プロジェクト



乳幼児応援プロジェクト



相談支援



施設・団体食品配布

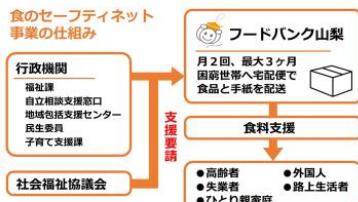
## のべ 支援数 4,249 世帯

10の市町・社会福祉協議会と連携し、生活に困窮する世帯に月2回食品を宅配しています

対象：連携する機関から依頼を受けた世帯

生活困窮からの自立を目的として、お米・カップ麺・レトルト・缶詰・おかしなどを必要な世帯に配達しています。

「ふーちゃん通信」や返信用ハガキを同封し、食品を送るだけでなく、支援者との心の交流も図ります。



## のべ 支援数 2,663 世帯

給食のない夏休み・冬休みに計3回、食品を配布。申請書は学校を通して就学援助制度を利用する世帯に配布され、希望する世帯に食品を届けています

対象：小・中学生のいる準保護世帯

連携する小中学校	114校
2023年利用世帯	910 (子ども1748人)
母子世帯数	697 (全体の77%)

2023年夏の支援世帯数はコロナ禍前である2019年の約1.4倍



\*2022年までは冬、2023年は夏の実数。  
\*2015年・2016年は年に5回実施。

STAFFより



皆様の食品のご寄付、ボランティアのご協力に感謝しています。想いが詰まった食品が支援者の活力に繋がるように支援を進めます。  
野中 光太



支援を利用しているどの家庭も様々な事情を抱えています。食事の面だけでなく心の支えに繋がるように、皆様からの思いも大切にして発送しています。  
秋山 純乃

## のべ 支援数 397世帯

未就学児を育てる世帯に、ミルク・おむつ・食品を提供。また親子で参加できるイベントを実施しています

対象：就学前の子どもがいる児童扶養手当・住民税非課税世帯

## 面談回数 359 回

食料支援を受けている世帯の中で複合的な課題を抱える世帯に対し、その後のケアを通して状況の改善・解決を目指します

対象：食料支援を受ける世帯

## のべ 提供重量 69.2 トン

児童養護施設や障がい者施設などの福祉施設や、こども食堂に食品を提供しています

対象：合意書を交わした登録施設・団体

施設の状況や、希望の内容・量などをヒアリングし、ニーズにあった食品提供を心がけています。2022年には味噌汁やお菓子、カップラーメン・ゼリーなどの配布をしました。

また、施設・団体の受け入れ環境に応じ、冷凍・冷蔵品を提供しました。

登録施設・団体は66になりました。

STAFFより



困難に陥る原因は人それぞれです。一人一人の声に耳を傾け、寄り添って共に解決策を見つけていく、そんな支援を心がけています。  
島田 初枝



物価高騰などの厳しい経済情勢の中で、食品をご寄贈くださっている企業・団体の皆様に感謝すると共に、つながりを大切にていきたいです。  
小倉 啓太



企業・団体からの食品寄贈

寄贈量 **102.7** トン

外装の破損・印字ミス・返品などの理由で、販売できない食品を製造企業から寄付いただいている。また企業などから防災品も受け入れ。全国フードバンク推進協議会を通じて大手企業からの大口寄贈にも対応しています。

全国フードバンク推進協議会のマッチング寄贈、また県内外の企業からの寄贈食品は飲料や菓子、缶詰やレトルトなど多岐にわたります。また、アイスクリームやケーキなどの冷凍品や防災品の寄贈も積極的に受け入れています。2022年度は全79社・団体からのご寄贈がありました（防災品の寄贈含む）。2023年度には年間取扱量400トンを目指して、さらに多くの企業の皆様にご協力をお願いしていきます。

フードドライブ・きずなBOX  
(市民からの食品寄贈)寄贈量 **90.3** トン

**フードドライブ**  
家庭にある未利用食品を寄付する取り組み

**きずなBOX**  
スーパー・マーケットで購入した食品を寄付する取り組み

**「フードドライブ」**  
市民の方の寄付を始め、県内の教育機関で取り組みが根付いています。企業や団体の継続的な協力も大きな力です。

**「きずなBOX」**  
お店で購入した食品を寄付できる仕組みです。「いちやまマート」山梨県の全店、「JA南アルプス市Aコープ」白根店・甲西店にBOXを設置していただいている。

2023年夏のフードドライブへ  
ご協力いただき、ありがとうございました。  
協力いただいた企業・団体・  
学校はこちら⇒



STAFFより



子どもたちが未来を自由に描ける、キラキラした自分の力や魅力に気付ける。そのサポートをするための土台をしっかりと固めて、みんなの拠点が築けるよう努めます。

高野 彩子



たまに通る道沿いにあったフードバンク山梨と出会い、今は『ファン』でもありつつスタッフとして毎日どっぷりつかっています。

川崎 宏美



フードバンク団体の連携を推進

緊急食料支援で  
スマイルをつなげる取り組み支援数 のべ **2,384**世帯

コロナ禍や物価高騰の影響を受けて支援が必要な方に県内フードバンク団体と連携して食品を会場で手渡ししています

対象：児童扶養手当・住民税非課税・給付型奨学金を受ける世帯

## 12団体が参画

県内各地の支援拠点となる地域フードバンクの設立と運営を応援し、全県にフードバンクのネットワークを構築することを目指します

県内のすべての要支援者に食のセーフティネットを提供します

ひとりでも多くの方への支援を進めため、フードバンクを始めたい団体への運営ノウハウや備品・食品の提供を担う中核的フードバンク活動を始めました。

参画するフードバンク団体は、南アルプス市（2）、北杜市、韮崎市、中央市、都留市、富士吉田市、甲府市（3）、富士河口湖町、身延町にあります。

2022年末から稼働開始した「山梨フードバンクセンター」を拠点に、食料支援の地域格差が生まれない仕組みを確立するとともに、持続可能な地域づくりに貢献します。

2020年に新型コロナウイルスの影響で、失業したり、休業・給与の減少によって困窮する方に食品を提供するためにこの取り組みを開始しました。

食品が必要な方がオンラインでスムーズに申し込みができる仕組みを確立。

地域フードバンクと連携し、支援する方へ直接食品を配布しています。

フードバンク団体が把握する地域の困窮者にも支援が行き渡ることを目指します。

2023年9月には県内11の会場で163世帯が食品を受け取りました。

年度内複数回の開催を予定しています。

STAFFより



地元で食品を集め、必要とする地域の方に無償で提供する仕組みは、地域の力ををぐくむ礎になると信じて活動しています。

河野 有良



## Twinkle Stars Academy

トゥインクルスターズアカデミー

利用者 20 人

プログラミングと英会話を身につけ、子どもたちが未来にきらきら輝く夢を見つけるためのサポートを目的としています。ヴィジョンナリーパワー(株)と連携して行います

支援対象：小学3年生～中学3年生



## 高校生・若者支援事業

支援数 140 世帯

高校生のいる世帯とケアリーバーへの食料支援を開始。さらに学歴の壁を乗り越えて世界で活躍できる人材を育てる目標に、IT人材育成講座を無料で提供します  
支援対象：高校生～39歳までの若者

フードバンク山梨が食料支援をする家庭の子どもたちを対象に、2023年夏より月1回、プログラミング講座と英語レッスンを始めました。

プログラミング講座ではスクーミー(株)の協力により各自がアプリを作成します。バンビバイリンガル幼稚園の先生のご協力で楽しく学んだ英語力をプレゼンテーションを行うことを目指します。

昼食には協力企業(株)まもかーるのお弁当をみんなで楽しくいただきます。



## ももっ子クラブ

のべ 支援者数 200 人 \*2022年度

学生団体「アラベスク」がフードバンク山梨と連携し、食料支援世帯の子どもたちの学習や居場所の提供を行っています。  
年間のべ200人の子どもと、のべ200人の学生ボランティアが参加しました



学校でフードドライブに協力した高校生から、「集めた食品がどのように支援に活用されているのか知りたい」という声がありました。これを受け、高校生に夏休みのボランティア参加を呼びかけました。7日間にのべ228名が参加しました。

誰かのために活動している方々が素敵だと感じました

## 「ナツボラ」に参加して

もっと大変な仕事だと思ったけれど思ったよりも、みんなと楽しく有意義な時間を過ごせた。こういう風に仕分けているんだと初めて知り、良い経験になった

ボランティアには初めて参加しました。いろいろな形がある食品の組み合わせを考え、きれいにぴったりになるように箱詰めをするのが楽しかったです

ただ黙々と作業するのだと想像していたが、思ったより楽しく、食品を受け取る人達のことを考えました。多くの人に届けば良いなと思いました

## 感謝の声が届いています

返信ハガキ429通 \*2022年度

「ありがとう」の言葉とともに厳しい暮らしの実態が綴られています

いつも大変お世話になっております。今回  
も箱いりばいのご支援を本当にありがとうございます  
ございます。同封されていて「応援すくいみ」  
のチラシも、子どもに見せてあげて、矢澤  
家族は100円でつくなくていいしないようだ  
けど、こんなにたくさんの人達が助けてくれ  
て、気にかけてくれているんだよ、と伝え  
ます。本当にありがとうございます。



### ひとり親家庭 母と幼児2人

かでひに家に商品が増えました。ありがとうございます。  
どんどん値上がりなどで高くなっています。。。  
でも、多供のオム。粗供父のオム。ペットなど、使うものは買あないといけない。。。でも収入が増えてくれるからいいのです。お金は少しがちで手に入ります。  
ガソリンも高いです。でも。。。  
多供のものもガソリンでもらっている中、2人にお菓子が届き、とてもうれしかったです。  
本当にありがとうございます。  
お米も大切に食べさせていただきます。  
暑い中、私達の為に、ありがとうございます。  
お身体には十分気をつけください。  
本当にありがとうございます。

皆様のご協力をお願いします

## 冬のフードドライブ強化月間

冬休み中の子どもたちに送る食品を  
集中的に集めます

フードバンク山梨のほかに、山梨県内では15の集荷拠点があります  
お近くの拠点にお持ち込み下さい  
\*フードバンク山梨への宅配便や郵送でも  
受け付けています

10/16(月)～11/15(水)

特にご協力  
いただきたい

食品

1

1

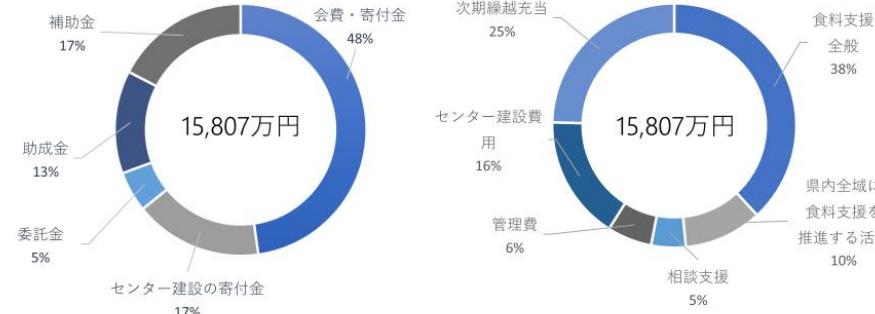


ホームページでも  
ご案内しています  
詳しくはこちら＝

\* 詳しい内容はホームページで公開しています

2022年度決算報告

費用



夏休み中ひいつり通り仕事つ子供たリで過ごす時間が長く給食がなゝ為、並っていたがいた。レトルト食品や伝票類はとてじ耳かきりました。そして、お米を減らし平らで、お米をいただりたことが嬉しかったです。  
価格高騰でなかなかおやつや菓物まで買うことが出来たってお菓子をいただくて、喜んで食べています。  
なかなか食費を出せば、我が家にとっては、食料支援していくたまに本当に感謝の気持ちをいたでます。

今回も決済の品を頂き、本当にありがとうございます。  
毎回猪をあつまつ仔の目の前でオチえていて今日何が  
入っているかわからぬ?と嬉しそうに一番に箱を開け  
開封していく。今更うつむき大丈夫なことで  
食費がかかるのもちろん、それ以外にも日常の  
会話でも思春期にひかれて減ってきてます。その中でも  
毎回届くドーピングの猪を開封していく時、  
化粧盒の内が増えていくのが事実です。  
食品などを頂いていると本当に前に立たないけど、  
その裏側には協力してくれる企業さんがいて、  
猪を育てて商品を作ってくれる方がいてくれるんですけど。  
と毎度お詫びをします。是非機会があればぜひ  
私達もそのお手伝いをさせて頂たいです。  
いつもいつも、ありがとうございます。皆様へ感謝です。

### ひとり親家庭 母と中高生2人

### ひとり親家庭 母と中高生2人

ご支援に心から感謝申し上げます

## 協力企業・団体

## 小林製薬株式会社×青い鳥こども支援プロジェクト

東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ株式会社  
株式会社タンザワホールディングス株式会社タンザワ  
宗教法人生長の家  
ツルヤ化成工業株式会社  
医療法人社団友伸會生活協同組合ユーコープ  
株式会社シャトレーゼ  
株式会社はくばく  
株式会社福島運輸  
株式会社エヌディエス  
株式会社テレビ山梨  
ヒロセ電気株式会社  
旭陽電気株式会社  
株式会社エノモト株式会社山梨中央銀行  
有限会社ジーエヌコーポレーション  
有限会社峡西シーエーテーブイ  
株式会社藤石材  
富士急行株式会社  
株式会社オーク  
生活協同組合パルシステム山梨  
パルシステム生活協同組合連合会  
パルシステム共済生活協同組合連合会  
株式会社パルライン  
株式会社Toshin  
ヒューコムエンジニアリング株式会社  
株式会社クロスフォー  
株式会社オーテックメカニカル  
株式会社ササキ  
株式会社ナカゴミ建設  
株式会社小泉中部  
株式会社新和運輸  
公益財団法人キープ協会  
山梨スズキ販売株式会社  
山梨ダイハツ販売株式会社  
昭和総合警備保障株式会社  
浄土真宗本願寺派大正寺  
長田組土木株式会社  
有限会社ベリー商事  
有限会社山梨検査センター  
有限会社南口運輸倉庫  
有限会社保泉商事  
オプトホーム株式会社  
株式会社甲府大一実業株式会社中部  
株式会社ネオシステム  
ファスフォードテクノロジ株式会社ヴィジョナリーパワー株式会社  
株式会社アースリンクイノベーション  
株式会社エム・シー・エス  
株式会社サンボー<sup>1</sup>  
株式会社シンク  
明治安田生命保険相互会社  
株式会社内藤製作所  
合同会社グローバルコーポレーション  
株式会社BWI株式会社早野組  
株式会社エス・アイ・エンジニアリング  
住友生命保険相互会社 山梨支社  
株式会社システムインナガミ  
共信冷熱株式会社  
E & E 株式会社  
コミヤマエレクトロン株式会社  
テクト株式会社  
トヨタエルアンドエフ山梨株式会社  
フォネットグループ  
なかえこどもクリニック  
清水内科クリニック  
医療法人優心会 竜王レディースクリニック  
医療法人田辺産婦人科  
医療法人碧山会 甲府昭和婦人クリニック  
医療法人快療会 くつま整形外科医院  
医療法人立史会 今井整形外科医院  
医療法人久悠会 津久井胃腸科医院  
土屋眼科医院  
株式会社 FUJISEY  
株式会社クリスリのサンロード  
株式会社サニカ  
株式会社サンワライフ保険  
住友林業株式会社 住宅建築事業本部甲府支店  
株式会社ジインズ  
株式会社マイコー  
株式会社メディアブレイン  
株式会社甲府共和電業  
株式会社坂本建運\*一定額以上の協力をいただいた企業・団体の支援者様  
を記載しています（順不同） 112社・団体  
\*上記以外にご寄付をいただいた企業・団体 164社・団体  
\*個人寄付者 914名

## ご協力のお願い

### 食品の寄付



家庭にある未利用の食品を、地域や学校・職場で集めてお持ちください

食卓を囲み、笑顔を交わす喜びがどんな人にも  
当たり前にあるように。

「分け合うと、もっとおいしい」そんなふうに思う  
多くの方の寄付が、私たちの活動を支えています

受け付けている食品

お米 カップ麺 レトルト食品 ふりかけ  
乾麺 のり  
パスタ インスタント 缶詰 フルーツ缶 お菓子  
など

\*宅配便や郵送でも受け付けています

お店で購入した食品を気軽に寄付できる「きずなBOX」を設置しています

「いちやまマート」山梨県内の全店 「JA南アルプス Aコープ」白根店・甲西店

### 時間の寄付



多くのボランティアのみなさんが活動を支えています  
お気軽にお問い合わせください

困難な状況に置かれている人がいる。  
そのことを知り、少しでも力になりたいと  
思いを寄せて、活動に参加していただいている

■食品の仕分け：寄付された食品の賞味期限の確認  
(毎週水曜日10:00~12:00)

■箱詰め：宅配便で支援世帯に届ける食品の箱詰め作業  
(毎月第2・4週の木金曜日10:00~12:00)

### お金の寄付



食品の宅配料や運営費など、活動に欠かせない資金のご寄付をお願いします

私たちの活動は、無償でいただいた食品を  
無償でお渡ししており、利益は生じません。  
皆様からのご寄付に支えられています

当法人は、認定NPO法人です。  
確定申告することで、寄付金控除が受けられます

クレジットカードで

QRコードから  
お手続きいただけます



金融機関で

【山梨中央銀行】

口座名義：  
特定非営利活動法人フードバンク山梨  
支店名：県庁支店（店番：258）  
口座番号：（普通）671338

【ゆうちょ銀行】

払込み  
口座名義：特定非営利活動法人フードバンク山梨  
記号：10820  
口座番号：9923441

振替

口座名義：フードバンク山梨  
口座番号：00220-0-100567



## 認定NPO法人フードバンク山梨

〒400-0203  
山梨県南アルプス市徳永1603-1

Tel: 055-298-4844  
Fax: 055-298-4885  
E-mail: info@fbyama.com

<https://fbyama.fbmatch.net>



@foodbank.yamanashi



@fb\_yamanashi



@fb\_yamanashi